

学生各位

青森公立大学 学長 香取 薫

## 青森公立大学の学生のコロナ対策について【2023年度春学期版】

新型コロナウイルス感染症については、全国的に感染が減少傾向ではありますが、本学の教室収容率を100%まで制限緩和すること、また新型コロナウイルスの位置づけが「2類相当」であることから、今後も感染防止対策を徹底し、自己管理に努めてください。

また、コロナ対策の長期化により気の緩みが指摘されていますが、マスク（「不織布」を推奨）の「正しい着用」も意識してください。

### 【基本的な対応】

- 学内では、必ず正しくマスク（「不織布」を推奨）を着用すること。
- 規則正しい生活を送り、毎日検温するなど体調管理に努めるとともに感染症対策を徹底すること。
- 下記に該当する方は通学を控え、事前に事務局に連絡すること。
  - ・感染した方、感染者との濃厚接触（疑いを含む）がある方
  - ・熱、のど、せきなど具合が悪い方
- 公共交通機関を利用する際の移動や移動先においては感染症対策を徹底すること。
- 友人等多人数での集団旅行やイベント等に参加する際には、感染リスクの高い行動はしないこと。
- 日々ホームページ及びメールを確認すること。

### 【サークル活動】

感染状況は引き続き留意が必要な状況にありますので、活動の可否や条件等については各サークル代表者を通じてお知らせします。

- 練習以外の打合せ等においても基本的な感染対策を怠らないこと。

### 【アルバイト】

- 感染防止対策を適切に行っている事業者を選び、その感染防止対策に従うこと。
- 体調が悪い時は出勤を控えること。

**2023年5月8日（月）以降、新型コロナウイルスの位置づけが「5類」へ変更予定となっておりますが、  
本学としての対応方針等については、後日お知らせいたします。**

# 青森県民の皆様へのお願い

## 新型コロナウイルス感染拡大防止

基本的な感染防止対策を徹底  
感染しない・させない行動を!

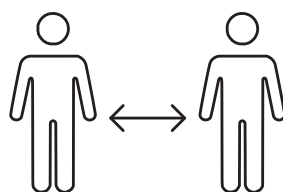


マスクの適切な着用

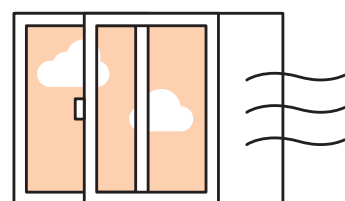
(不織布マスク等を利用)



手洗い・手指消毒



人との距離の確保



こまめな換気

具合が悪い時は、  
出勤・登校・外出を  
控えましょう。



具合が  
悪いので  
今日はお休み  
します

新型コロナウイルス  
感染症

+

季節性  
インフルエンザ

ワクチン接種をご検討ください。

令和4年10月14日版

# 感染リスクが高まる「5つの場面」

## 場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



## 場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



## 場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



## 場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



## 場面⑤ 居場所の切り替わり

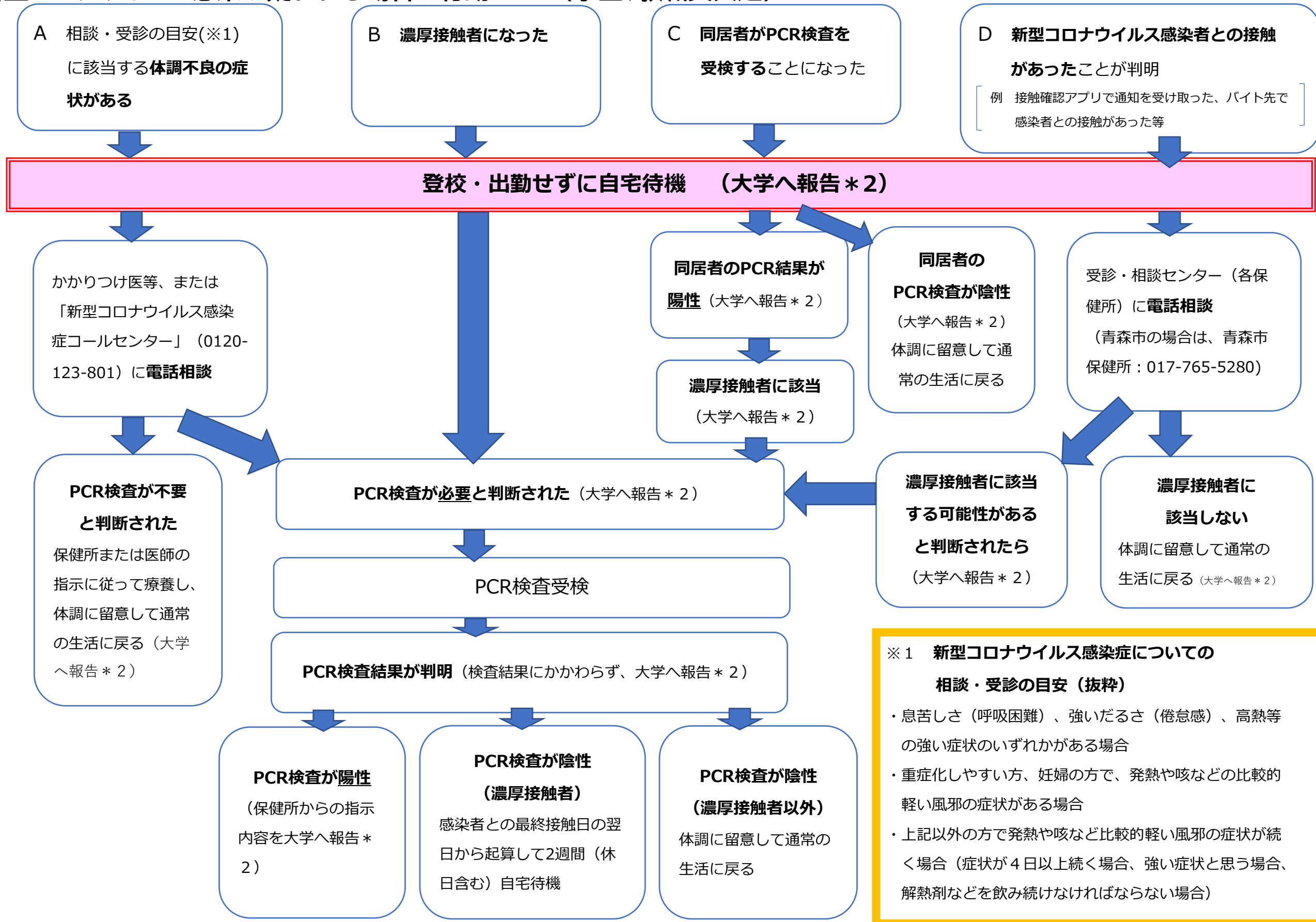
- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



## 【感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫（分科会からの提言）】

- 飲食するのであれば ①少人数・短時間で、  
②なるべく普段一緒にいる人と、  
③深酒・はしご酒はひかえ、適度な酒量で。
- 箸やコップは使いまわさず、一人ひとりで。
- 座の配置は斜め向かいに。（正面や真横はなるべく避ける）
- 会話をするときにはなるべくマスク着用。
- 換気が適切になされているなどの工夫している、ガイドラインを遵守したお店で。
- 体調が悪い人は参加しない。

## 新型コロナウイルス感染が疑われる場合の行動フロー(学生、教職員共通)



**※1 新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安(抜粋)**

- ・息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- ・重症化しやすい方、妊婦の方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- ・上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合(症状が4日以上続く場合、強い症状と思う場合、解熱剤などを飲み続けなければならない場合)